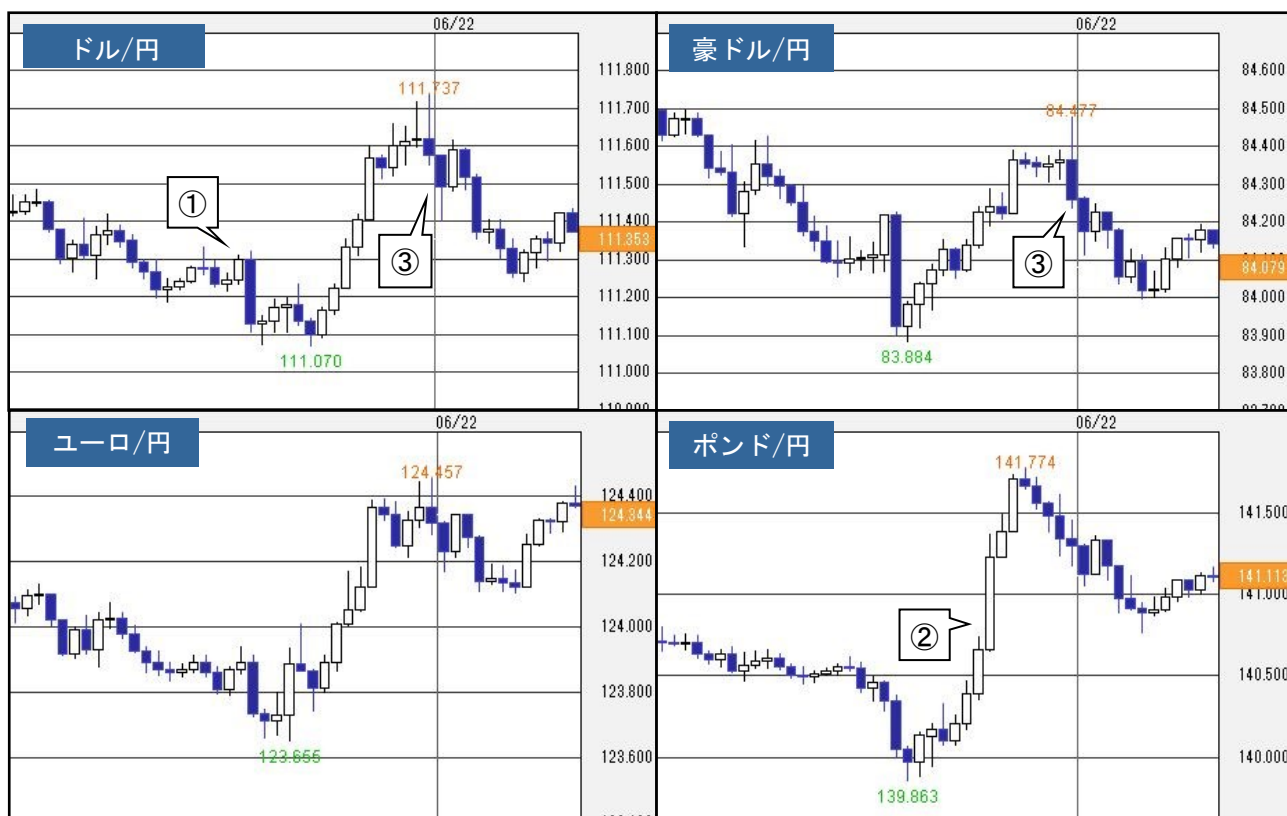


6月22日(木曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、方向感定まらず

21日(水)の為替相場



期間：21(水)午前6時10分～22日(木)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 黒田日銀総裁は講演で「物価動向を引き続き注意深く点検する必要がある」、「イールドカーブは市場調節方針と整合的な形で円滑に形成」、「2%目標までには距離があり強力な金融緩和推進が適切」などと述べた。
- ② 英金融政策委員会(MPC)のホールデン委員が「年後半に金融刺激策の一部解除を支持」と発言するとポンド買いが活発化した。なお、同委員は前回のMPCで政策金利の据え置きに賛成票を投じており、ハト派メンバーと見られていた。
- ③ 米5月中古住宅販売件数が年率換算562万件と市場予想(555万件)を上回ると111.70円台にドルが上昇。その後、米エネルギー情報局(EIA)が原油在庫の減少を発表すると、NY原油先物が上昇し、米長期金利が上昇する中、ドル/円は111.737円の高値を付けた。しかし、原油の供給過剰感根強く、NY原油先物が下げに転じると、小じっかりで推移していた米国株が反落。米長期金利が上昇幅を縮小する中、ドル/円も111.40円前後に押し戻された。豪ドル/円も原油価格に振り回されて84.40円台に上昇するも84.10円台に反落するなど不安定な値動きとなった。

21日(水)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
20138.79 (▼91.62)	5665.721 (▼91.532)	3156.212 (△16.199)	7447.79 (▼24.92)	12774.26 (▼40.53)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21410.03 (▼57.11)	0.0620% (△0.0050)	2.392% (▼0.026%)	1.032% (△0.037)	0.265% (△0.003)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3481% (△0.0042)	2.1634% (△0.0069)	42.53 (▼0.70)	1245.80 (△2.30)	

外為注文情報(ドル/円)

Sell	Rate	Buy
■	111.75	□
■	111.70	□
■	111.65	□
■	111.60	□
■	111.55	□
■	111.50	□
■	111.45	□
■	111.40	□
■	111.35	□
■	111.30	□
■	111.25	□
■	111.20	□
■	111.15	□
■	111.10	□
■	111.05	□
■	111.00	□
■	110.95	□
■	110.90	□
■	110.85	□
■	110.80	□
■	110.75	□

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.900-111.800	123.600-124.900	83.400-84.500	140.000-141.800

【ドル/円】

昨日のドル/円相場は、主要国での株安を受けて下押しも心理的節目の111円ちょうど付近で下げ渋る一方、予想を上回る米住宅市場を受けて値を上げるも日足の一目均衡表の雲が位置する111.80円前後で伸び悩んだ。足形を見ても、上下にヒゲが長く実体が短くなっており、方向感が定まっていない様子が窺える。本日は米新規失業保険申請件数やパウエル米連邦準備制度理事会(FRB)理事の議会証言などがあるが、111円台を上下どちらかにブレイクするには力不足だろう。

執筆者：川畑

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
6/22(木)	10:30		(日) 岩田日銀副総裁、あいさつ	—	—
	未定		(日) 6月月例経済報告	—	—
	21:30	○	(米) 新規失業保険申請件数	23.7万件	24.0万件
	22:00		(米) 4月住宅価格指数(前月比)	+0.6%	+0.5%
	23:00		(ユーロ圏) 6月消費者信頼感・速報	-3.3	-3.0
	23:00		(米) 5月景気先行指数(前月比)	+0.3%	+0.3%
	23:00		(米) パウエルFRB理事、議会証言	—	—
	27:00	○	(英) フォーブスMPC委員、講演	—	—
	未定		EU首脳会議(～23日)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。